

横浜発展の礎学ぶ

故田村明さん 功績検証

来月3日シンポ

横浜発展の礎を築いた都市プランナーで法政大名誉教授の故・田村明さん(享年83)の功績に、あらためて光を当てる動きが始まった。NPO法人が設立され、田村さんの活動を客観的に検証し、後世に伝え残す作業を進めている。4月3日にはシンポジウムが開かれ、研究成果の発表や、ゆかりの人たちが「田村イズム」を語り合う。(牧野 昌智)

田村さんは高度成長期の「全国各地を巡るほか、市民ら1968年、飛鳥田一雄市長に請われて横浜市に入庁。みなどみらい21(MM21)地区計画を含む都心部強化や港北ニュータウン、横浜ベイブリッジ、地下鉄など現在の横浜の骨格となる「六大事業」を推進した1人。都市景観が二の次とされた時代に都市の美しさや風格にこだわり、郊外の緑地保全や良好な住宅地づくりにも力を注いだ。

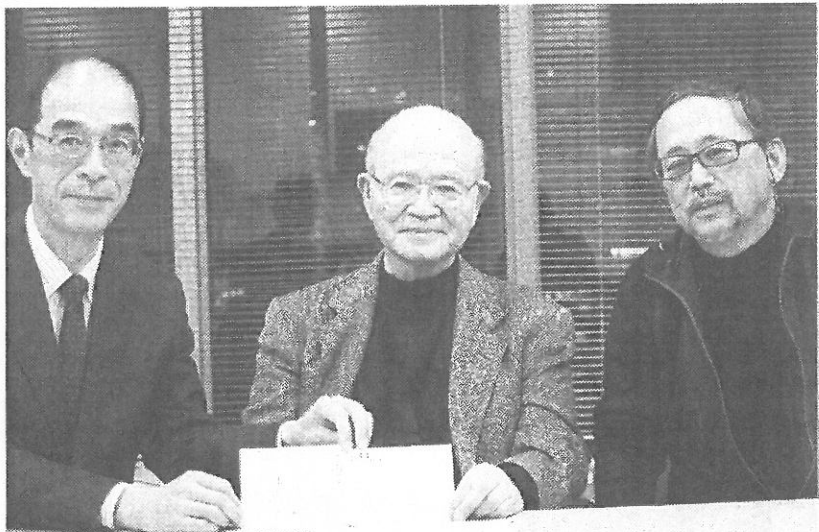
77年の飛鳥田市長の辞任後、法政大教授に転身。「まちづくり伝道師」として全国各地を巡るほか、市民らを対象にした通称「田村塾」も主宰した。

NPO法人「田村明記念・まちづくり研究会」は昨年、弟子を自認する田口俊夫さん(63)らが設立。「田村さんは多くの著作を残しているが、横浜の都市づくりを知るには格好だが、まだ史実とするには早い。客観的な視点で研究・発信することで、次世代のまちづくり、人づくりに寄与できれば」と話す。正会員は約10人で、資料発掘や関係者への聞き

取り、記録といった活動を続けている。理事長を務める実弟の田村千尋さん(85)は「明を幼

少期から知る親族として、彼の思想的な部分をしっかりと引き継ぎ、残していきたい」と話している。

シンポジウム「田村明からのメッセージ」は午後1時半〜同5時。県民ホール(横浜市中区)で都市プランナー箕原敬さんの講演や鼎談などが行われる。参加無料。申し込みは同NPO法人ホームページ。



田村明さんの功績を伝え残そうとNPO法人として活動する田村千尋さん(中央)、田口さん(左)、仲原正治さん

悪質バス会社排除へ

転落事故 再発防止 国交省、年内制度改正

が、法令違反を繰り返したり、重大事故を起こしたりした場合、累積点数にかかわらず厳しい処分を出せるよう改正する方針だ。

開業3日間で 3万人弱乗車

新函館北斗―新青森 1日7便(毎週月、火、水、木、金、土、日)